

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名： 岡山県倉敷市立庄中学校

活動名： 一致団結～主体的に学ぶ生徒の育成を目指して～

解決すべき課題： 学校全体を通して、学習環境も整っており、生徒は落ち着いて学校生活を送ることができている。教職員も校内研修を重ね、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業を行ってきた。しかし、転勤等で毎年多くの教職員が入り替わり、全教職員が目指す生徒像や本校の研究主題などを共通理解するのに時間が掛かる。更に多くの行事に向けての準備や部活動、校務分掌などに追われ、多忙な日々を過ごしている。そこで働き方改革を意識し、効率よく全教職員が目指す生徒像を意識し、共通理解を図りながら、よりよい生徒を育てていくことが課題である。

目標・方針：

- 1 目指す生徒像を可視化することで、目標に近い集団となる。
- 2 教科横断的な学習を意識することで、教科等を超えて、育てたい資質・能力の共通理解を図る。
- 3 校内研修を充実させることで、全教職員の意識を高め、組織力の向上を図る。

活動内容：

- ① 目指す生徒像の可視化
 - ・学年目標や生徒と教員それぞれの目標を学年の掲示板に掲示した。
- ② 教科横断的な学習
 - ・総合的な学習の時間を中心に各教科が「つながり」を意識して授業を行った。
 - ・教科が違って同じ手法で学習を深めた。(マッピング、新聞づくり、レポートなど)
- ③ 校内研修の充実
 - ・年 3 回の校内公開授業日を設定し、一人一回公開授業を行った。
 - ・研究協議では KJ 法を使い、生徒の見取りを大切に、具体的に協議した。

活動の成果：

- ① 学年目標や生徒の目標を掲示することで、生徒・教職員共に目標への意識が高まったり、共通理解を図ることができた。(写真1、2)
- ② 教科が異なっても同じ手法で授業を行うことで、スムーズに生徒が活動に取り組むことができた。また総合的な学習の時間と各教科を連動させることで、生徒の学びが深まった。(資料1、2)
- ③ 研究協議後、研究協議で使用した模造紙を教職員の湯沸かし室に掲示することで、全教職員の共通理解が深まった。

アピールポイント (アイデアや工夫)：

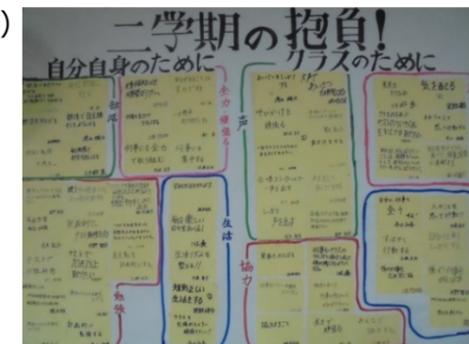
- ① 掲示物の充実
- ② 学年集会での発表
- ③ KJ 法の使用

● 学年目標と生徒・教職員の目標を掲示

写真1 (学年の掲示板)

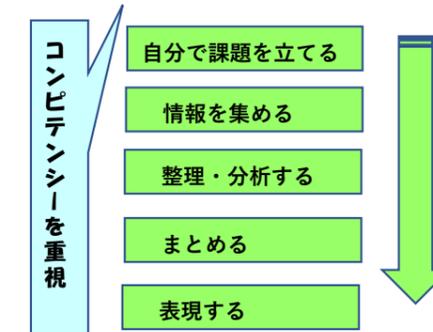


写真2 (学級目標、クラス内の掲示板)



● 教科横断的な学習

★ 教科横断的な学習として行ったこと



マッピング

資料1



学年集会

資料2

「平和・歴史文化学習」のまとめ

R2年 7月22日 (水)
司会 (生徒)

1 はじめの言葉 (生徒)

司会進行は生徒会執行部

2 発表

- (1) 平和学習 (各クラス学級委員)
 - ・戦争を起こさないために自分たちができること
 - ・世界で取り組めること
- (2) 歴史文化学習 (各クラス2名)
 - ・長崎の歴史文化について調べたことを発表
- (3) 英語でのスピーチと質疑応答 (各クラス1名)
 - ・原爆や戦争について学んだこと
 - ・平和な世界をつくるためにできること

普段あまり目立たないような生徒も学年集会で発表

原爆や戦争について学んだことや平和な世界をつくるためにどうしたらよいか、英語で考え、英語の授業で、スピーチを行った。

- 3 平和・歴史文化学習を振り返って (生徒会長)
- 4 学年主任より
- 5 終わりの言葉 (生徒)

● 校内研修の研究協議 (KJ 法を使って)

写真3

